

ワークライフ バランス

国民一人一人がやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たすとともに家庭や地域生活などにおいても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現出来る社会の実現を目指しています。

ワークライフバランス実現のための様々な取組！



フレックスタイム制

4週間の総労働時間(155時間)の範囲内で、始業と終業の時間を自ら選択できる制度。

年次休暇の取得促進

休暇計画表などによる計画的な取得、夏季休暇・年末年始休暇との連続取得、家族の誕生日等の記念日などの取得。



テレワーク

情報通信技術を活用した時間や場所にとらわれず、有効に活用できる柔軟な働き方。「新しい働き方」として今後も定着を推進。

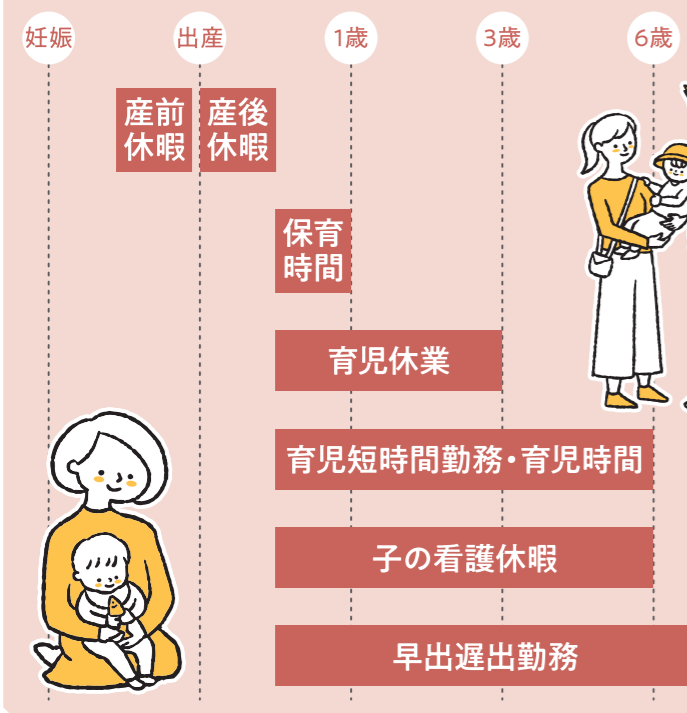


Web会議

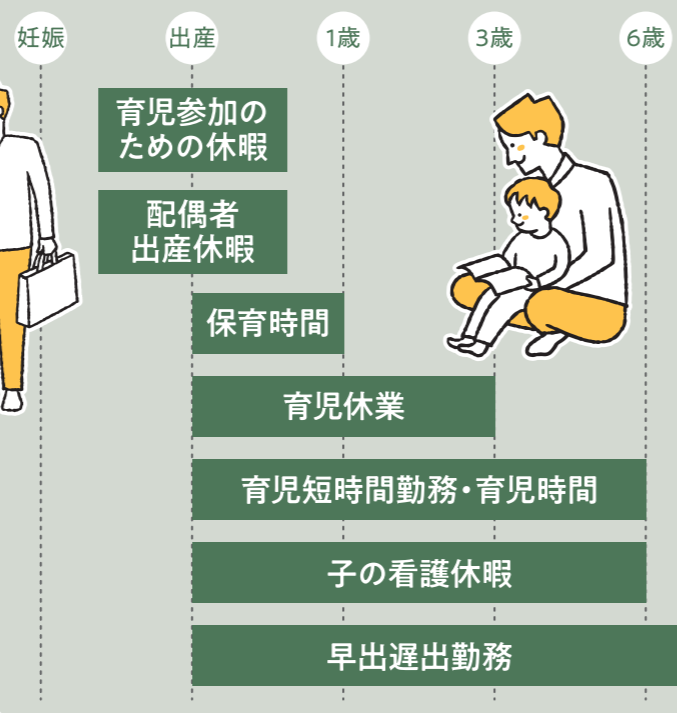
ネットワークを通じて、自宅や遠隔地にいる相手と会議を開催。

仕事と育児の両立支援制度：主なもの

女性職員の場合



男性職員の場合



育児休業体験記 ～職員インタビュー～



夫婦で協力して子育てを

事務職 田中 大貴 TANAKA HIROKI

採用年度 2014年採用

現所属 国土交通省 北海道局 総務課 主任

現在、本省で勤務しており、上司には妻の妊娠を伝えた段階から育児休業の取得を勧められていました。お互いの両親が北海道に住んでいるということもあり、里帰り出産をしていた妻が東京の自宅に戻ってくるタイミングで育児休業を取得しました。3週間という短期間ではありましたが、日々子どもの成長を感じるとともに、妻とは家事の分担や一日の生活リズムを共有することができ、とても有意義な時間になりました。

育児休業から復帰した後も職場でのサポートを受けながら、テレワーク勤務やメリハリをつけて仕事に励むことができ、育児休業を取得して本当によかったと思っています。

女性が働きやすい職場であるため

技術職 増川 里実 MASUKAWA SATOMI

採用年度 2006年採用

現所属 釧路開発建設部 釧路道路事務所 第3工務課 工務係長



入局2年目で初めての育児休業を取得しました。その間に第2子を出産し、4年後に復職しました。復職前は、とても不安で緊張していたのを思い出します。復職後は、職場の理解やサポートのおかげで仕事と子育ての両立ができています。その後も2回の育児休業を取得し、今では4人の子供を育てながら働いています。育児休業中は、子供の成長を日々感じることができ、上の子供たちとの時間も増え、子育てを楽しめる期間でした。

北海道開発局は、育児休業を取得しやすく、復職後のサポートもあり、女性が働きやすい職場だと感じています。

女性職員活躍推進相談窓口について

「女性職員活躍と職員のワークライフバランスの推進のための国土交通省取組計画」のうち、「女性の活躍推進のための改革」を推進するため、北海道開発局では女性職員活躍推進相談窓口を設置して、相談を受け付けています。